

# 神恵内対話の場の振り返り

神恵内対話の場ファシリテーター  
NPO法人 市民と科学技術の仲介者たち  
代表理事 大浦宏照

# 本日のお題

- 自己紹介
- 対話の場のデザインプロセス
- 対話の場の振り返り
- 対話の場の運営方針5点に基づく振り返り
- うまくいったこと・よかったこと
- 今後改善できるかもしれないと思うこと
- 他地域で対話を実施する際に参考になりそうなこと
- 対話活動総括にあたって留意したほうが良いこと

# 自己紹介

第1回対話の場の資料から

当面神恵内の対話の場は、



大浦宏照（おおうらひろあき）



佐野浩子（さのひろこ）

の二人が皆さんのお世話をさせていただいています

# 大浦の自己紹介

本業は災害の調査を専門にする  
エンジニアです



10年くらい前から高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する勉強会を企画・運営したりしています。



# 佐野の自己紹介

臨床心理士・ファシリテーター  
という仕事をしています。



普段は、病院や企業などで  
話をじっくり聞く  
話し合いの場の交通整理のお手伝い  
などを行っています。

違う立場・違う意見の人が  
話し合って、  
お互いが納得できる地点に  
立てることを目指しています。

一つのテーマをめぐって、様々な立場の人が集まり、話を聞き合う会(オープンフォーラム)を開催したりしています



対話の場で毎回  
お見せするスライド

## NPO法人

市民と科学技術の仲介者たち

モットー

- 私たちは、市民が科学技術を良く知り、**正しく恐れる**活動に関わります。
- 私たちは、科学技術問題を扱う場の**仲介者**として、企画と進行を**お世話**します。
- 私たちは、予め答えが決まっている場には関わりません。
- 私たちは、何らかの答えを誘導するような行為には関わりません。

対話の場で毎回  
お見せするスライド

私たちは誰のためにここにいるのか？

私たちは、

今日この場に参加してくださっている皆さん  
神恵内村に心を寄せてくださっている皆さん  
将来世代の皆さん

のために、この場にいます。

NUMO ホームページから



# 対話の場のデザインプロセス

- ・第1回開催前に村役場などとスキームについて打ち合わせした(プレ協議)
- ・各対話の場は、実施前に様々な方・観点から意見を出していただき内容を修正している
- ・対話の場のあとは、振り返りを行って次回計画に反映している

ブレ協議  
(第1開催前の関係者打ち合わせ)



計画

振り返り

NUMO協議

実施

運営委員会

対話の場委員  
NUMO+ファシリテーター

メインファシリテーター  
サブファシリテーター  
テーブルファシリテーター

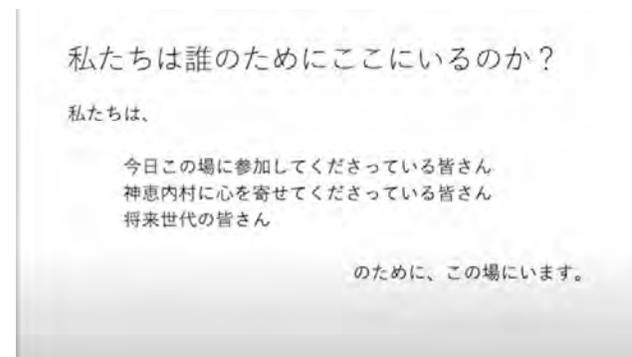
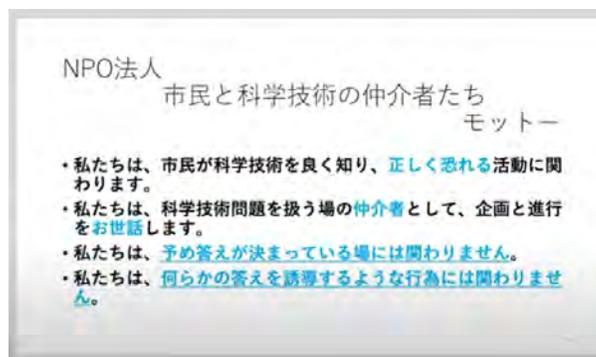
FS協議

エネ庁協議

# プレ協議の主な内容



- 対話の場のイメージ（p8・9）を共有
- 対話の場の委員の選出方法について話しあい  
関係団体の代表＋公募＝20名を定員とする  
できるだけ若い人・女性に入っていたかく  
村長・村議は原則として出席しない
- 委員の話し合いで進め方や各回のテーマを決める
- 運営委員会を置く



# 運営委員会



- 委員から3名互選 + NUMO + ファシリテーター  
(大浦・佐野) で構成
- 対話の場の開催前に各回のテーマや進め方について話しあう
- 活発な意見が出る

## 運営委員の提案例

開催時期について→村の行事や漁の予定と整合を取る

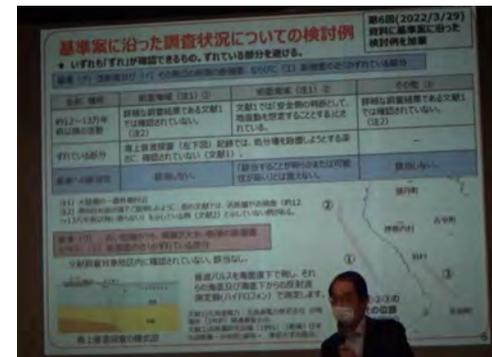
対話の場のテーマ→村全体にアンケートを取る

運営委員会で村の方のご意見を伺って計画に反映することが、きめの細かい対応につながっている



ただいまの時間は、音声は流れません。  
公開時間までお待ちください。

# 神恵内対話の場の振り返り



# 神恵内対話の場のテーマ（2021年度）

回数	開催日	内 容	テーマの分類				
			A	B	C	D	
1	2021/4/15	会則・対話の場のルールの話しあい	●				対話の場の進め方について皆さんの意見を伺った
2	2021/6/30	会則修正案・公開方法の話しあい 運営委員の選出 文献調査の進捗 地層処分について思うこと	●		●		
3	2021/8/5	文献調査の進捗 対話の場でどのようなことがしたいですか？	●		●		
4	2021/10/15	地層処分の概要と文献調査		●	●		
5	2021/12/9	幌延視察報告・北海道条例の説明（北海道） 文献調査をやってみよう・文献調査の質疑		●	●		
6	2022/3/29	文献調査の進捗 文献調査に関する質疑（前回の続き）			●		

テーマの分類

A	進め方
B	地層処分
C	文献調査
D	まちづくり

# 神恵内対話の場のテーマ（2022年度）

回数	開催日	内 容	テーマの分類			
			A	B	C	D
7	2022/4/2	地層処分に関するリスクと安全対策		●		
シンポジウム	2022/5/2	地層処分制度から見た課題 等 伴英幸氏 高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する 技術と課題 吉田英一氏		●		
8	2022/6/9	シンポジウムの振り返り	●			
9	2022/9/8	文献調査の進捗 地層処分に関するリスクと安全対策		●	●	
10	2022/10/17	これまでの「対話の場」の振り返り		●		●
11	2022/12/5	文献調査の進捗 交付金と地域振興			●	●
12	2023/2/7	文献調査の進捗 交付金と地域振興			●	●
13	2023/3/29	文献調査の進捗			●	

「多様な意見を伺いたい」という要望に応えた



「消化不良のテーマがある」という意見に応え、様々なテーマを話せる場



テーマの分類

A 進め方

B 地層処分

C 文献調査

D まちづくり

# 神恵内対話の場のテーマ（2023年度）

回数	開催日	内 容	テーマの分類			
			A	B	C	D
14	2023/6/8	文献調査の進捗 まちづくりについて			●	●
15	2023/7/27	放射線の基礎知識		●		
16	2023/9/26	海外の事例紹介				●

## テーマ別の取り扱い回数

A	進め方	4回
B	地層処分	7回
C	文献調査	10回
D	まちづくり	5回

2つ以上のテーマを扱った回があるので合計は実施回数と合わない

# 公開に関する問題

- 公開が望ましいことは役場・NUMO・国・委員も理解している
- 委員からは公開に関する不安の声があった
- 「不安に寄り添う場」を目指すにあたって、むやみに公開できない



運営委員会・対話の場で公開方法を話しあい



冒頭の情報提供と最後の振り返りを公開とする



# 対話の場の運営方針5点<sup>\*1)</sup>に基づく振り返り

運営方針*1)	これまでの取り組み
参加者の意向を尊重	委員の意見・住民アンケート・運営委員会を通じて参加者の意向を反映している。
合意形成の場ではない	賛否については問いを立てない。不安や迷う気持ちを尊重している（シールは2枚以上貼って良い など）。
公平性、中立性の担保	公開での質問、テーブルワークでの小さな声の拾い出しなどを通じて公平性を担保する。多様な意見を紹介する場（シンポジウム）などを通じて、バランスの取れた運営を行う。
透明性、公開制の確保	委員の自由な発言を妨げない範囲で、可能な限り公開での話し合いを行う。公開レベルは今後も見直す。
議論の内容の共有	NUMOのHPで資料・映像・ふせん・議事録を公開。NUMOは対話の場の記録を全戸に配布。「オスコイ通信 神恵内対話の場から」を発刊して、NUMO以外の視点から情報を発信。

< \* 1 > 「対話の場」の運営方針（2023年5月23日第39回放射性廃棄物WG資料3）（抄）

# オスコイ通信

# 神恵内対話の場から

発行「オスコイ通信」編集委員会  
(NPO 法人市民と科学技術の仲介者たち 内)  
編集委員：大浦宏照・古家衣梨・佐野浩子

第6号 **オスコイ通信**  
神恵内対話の場から

神恵内村 核のゴミ 地層処分をめぐる対話の場  
からお便りをお届けします



↑お祭りの神輿が海に入るところ

対話の場、3年目…一緒にしませんか？  
池本美紀

沖揚げまつりに始まり、  
島神社例大祭、そして盆踊り  
や花火大会と賑やかだった今  
年の夏は、何もできなかった  
3年間を取り戻すかのように  
とても熱く！北海道にはは  
気温も高い夏でした。お神輿  
行列は、子供の頃から聞いて  
きた「オスコイ」の掛け声  
が懐かしく体に響き、盆踊り  
や花火大会では夏の終わりを  
感じました。そして神恵内  
村にとっては、調査の受け入  
れからまもなく3年目の秋を  
迎えます。早いものですね。

放射線の基礎知識  
今まで対話の場は15回開か  
れました。最近では放射線の  
基礎知識を専門家の方に来て  
いただきお話を聞きました。

泊村に発電所があるにも関わ  
らず、今まで学ぶ機会がなく  
過ぎていたので、時間が足  
りないと思うほど興味深かつ  
たです。放射線や放射能は言  
葉のもつ雰囲気だけで恐れら  
れ、正しく理解している人が  
少ないのではないかと思っ  
つです。私もそうです。大地  
や食べ物、宇宙や空気中に存  
在する「自然放射線」、レン  
トゲンやCT検査などにある  
「人工放射線」。放射線にはい  
くつかの種類があつて、種類  
によって物を透過する力が違  
うそうです。紙すら透過しな  
いものもあれば、金属の板で  
も通るものがあるそうです。そ  
れが胸部CT検査やX線検査  
です。先生も時間が足りない  
と仰っていました。また他  
にも興味深いお話があつたの  
で、機会があれば村の方とも  
一緒に聞きたいなあと思いま  
した。

←勝栄館にて笑顔の池本さん

まちづくりへの課題  
そして、対話の場の中では  
「まちづくり」に関する話題  
が時々テーマに上がります。  
次の第16回目の対話の場でも  
話をする予定です。地域の課  
題などを見つづけるテーマル  
ワークでは、いつも時間が足  
りなくなるほど業種をこえて

活発な意見が出ます。漁業、  
交通、観光、子育て、などな  
ど、一つの同じ事を考えても、  
世代や性別、暮らし環境など  
によって求める答えは違いま  
す。みんなが神恵内の事を真  
剣に考え、より良い村になる  
ように思う思いをひしひし  
と感じます。村の歴史を大切  
にしながらも、新しい技術も  
取り入れて進んでいこうとす  
る姿勢。対話の場ではありま  
すが、村づくりに関する有意  
義な話もしています。村民の  
皆さんは傍聴できるので、せ  
ひ一度対話の場に参加してみ  
ませんか？



↑きのえ荘から見た”とつても恋しちゃう”夕陽

- 地層処分事業者以外から対話の場について情報を発信したい
- 市民の目線から多様な意見や気持ちを伝えたい



- ファシリテーター（佐野）が委員にヒアリングし、仲介者の会が発刊
- 村役場を通じて神恵内村全戸に配布
- 全6号を発行（2023/10現在）

仲介者の会：NPO法人 市民と科学技術の仲介者たち

# うまくいったこと・よかったこと

- ・対話の場のメンバー構成は、話しやすい場づくりという観点でよかった
  - 村長・議員が参加しない、若い人・女性をできるだけ多くする
- ・委員の意見を聞きながらゆっくり進められた
- ・テーブルファシリテーターと少人数グループによる進め方は、話し合いの活性化に役立った
- ・原則が侵されそうなときに踏みとどまることができている
- ・グループワークは止まらないくらい活発な話し合いができている
- ・少数意見を委員自らが拾う場面がある
- ・結果としてふせん約800枚の意見・疑問を拾い出すことができた



# 神恵内で今後改善できるかもしれないと思うこと

- ・長いスパンでの大まかな計画があるとやりやすい
- ・公開のレベルを少しずつでもあげられないだろうか
- ・文献調査の結果は中学生でもわかるような資料がほしい

**断層活動の例**

●神恵内村の陸域に活断層を示す文献・データは見当たらない。

【参考】神恵内村南方に示されている断層 (①)

- 神恵内村の南方の2つ隣町の共和町には、山地と扇状地の境界に北西-南東方向の、活動時期がおそらく更新世<sup>(注1)</sup>とされる断層が指摘されている(北海道開発庁, 1952)。
- 同様の場所及び泊村まで延びるその北西延長については、活断層研究会編(1991)では、確実度Ⅲ<sup>(注2)</sup>としている。  
注1)更新世:この文献では約1万年前~約180万年前  
注2)確実度Ⅲ:活断層の疑のあるリアメント(地形的に続く線状模様)。

●神恵内村前面海域については、数km沖合の海底に活拗曲<sup>(注3)</sup>(②)を示している文献と示していない文献がある。

- 活断層研究会(1991)では、数km沖合の大陸棚外縁<sup>(注4)</sup>付近に活拗曲が示されている。
- 活断層データベース(産業技術総合研究所地質調査総合センターウェブサイト)、徳山ほか(2001)、海上保安庁(1979)には、記載がない。  
注3)地層が厚く堆積しているような地域で、深部の基盤が断層運動などにより上下に変位することにより、地表付近では断層が生じず、地層が連続したまま屈曲しているもので、現在あるいは最近まで活動し、将来も活動する可能性のあるもの。  
注4)沿岸海底下等における地層処分技術的課題に関する研究会(2016)では、大陸棚の範囲を地下施設設置の検討対象としている。

●情報を抽出した文献・データの例

- 北海道開発庁(1952)5万分の1地質図幅および同説明書「茅沼」
- 活断層研究会編(1991)【新編】日本の活断層-分布図と資料-, 東京大学出版会。
- 産業技術総合研究所地質調査総合センターウェブサイト:活断層データベース
- 徳山英一, 本座栄一, 木村政昭, 倉本真一, 戸寿一郎, 岡村行信, 荒戸裕之, 伊藤康人, 徐垣, 日野亮太, 野原壮, 岡部寛伸, 坂井直一, 向山建二郎(2001):日本周辺海域の第四紀地質構造図, 日本周辺海域の中新世最末期以降の構造発達史付図, 海洋調査技術, 第13巻第1号, 海洋調査技術協会。
- 海上保安庁(1979)沿岸の海の基本図「神威岬」
- 地理院地図(国土地理院ウェブサイト)
- 沿岸海底下等における地層処分技術的課題に関する研究会(2016):沿岸海底下等における地層処分技術的課題に関する研究会とりまとめ。

左記の①②のおおよその位置(地理院地図の白地図に加筆)

この資料を住民に読み取ってくださいますのは難しい

# 他地域で対話を実施する際に参考になりそうなこと

## 対話の場の目的・願いを明確にする

何人参加したか、計画通りに進んでいるか、上位計画との整合性ははかられているか、何人に結果がリーチしたか・・・

大切なことは数字だろうか？

多様な方が参加しているか、参加者が納得して進んでいるか、参加者が理解しているか、少数意見が尊重されているか、活発な話し合いがなされているか、参加者は「次もまた来たい」と思っているか・・・

説明会じゃダメなの？



他地域で対話を実施する際に参考になりそうなこと

## 地域特性にあった対話の場をデザインする

- ・ グラウンドデザインをだれがどのようにして決めるのか
- ・ メンバーはどのような構成・集め方が良いのか
- ・ 募集するときに何を約束するのか
- ・ 開催する曜日・時間帯
- ・ 心のケアは必要なのか

海外事例も参考にすると良さそう

## 他地域で対話を実施する際に参考になりそうなこと

### 理解していただくことを大切にする

- ・ 「説明責任」の再定義が必要
- ・ 対話するには理解していただく必要がある
- ・ 資料は簡潔に見やすく
- ・ 様々な方法を試す
- ・ 何度でも説明する
- ・ 停滞・後戻りを恐れない
- ・ 理解していただいていることを確認する

# 対話活動総括にあたって留意したほうが良いこと

地域の幅広い声を聞いていただきたい

- ・そこに住む人たちが感じていることを聞いていただきたい
- ・できれば、周辺地域の声も聞いていただきたい
- ・伝わっていること・伝わっていないことを整理していただきたい
- ・感情や気持ちを持つに至ったプロセスを見極めていただきたい

# 參考資料

# 神恵内の対応例（スライド23-25補足）

<p>対話の場の目的・願いを明確にする</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・対話の場・運営委員会・アンケートなど多様なチャンネルを通じた市民の要望の聞き取り</li><li>・ファシリテーターの役割を毎回確認（スライド8・9）</li><li>・対話の場の最後に「この話題はこれで終わっていいですか」と問いかけ</li><li>・テーブルファシリテーターを通じた委員の発言状況・理解状況の確認</li></ul>
<p>地域特性にあった対話の場をデザインする</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・プレ協議を通じた関係者（村・国・NUMO・ファシリテーター）の認識のすり合わせ<ul style="list-style-type: none"><li>メンバー構成（女性・若い世代を多めに・・・）</li><li>合意を求めない・ファシリテーターの中立性（スライド8・9）</li></ul></li><li>・運営委員会を通じた地域のニーズの把握<ul style="list-style-type: none"><li>平日夜・地域行事との整合・進め方</li></ul></li><li>・対話に慣れていただくための計画<ul style="list-style-type: none"><li>投票の匿名性の確保・グループワークは慣れてから</li></ul></li></ul>
<p>理解していただくことを大切にする</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・説明資料のチェック</li><li>・説明を途中で切る、要約をファシリテーターから述べる</li><li>・実技の導入（地図に地質や鉱山を重ね合わせる・放射線の測定など）</li><li>・グラフィッカーによる補足説明（やりすぎると中立性に疑義が生じる）</li><li>・時間が不足しているときには後日同じテーマを扱う（第6回）</li><li>・もっと話したかったことを扱う場を設ける（第10回）</li></ul>

# 第10回「対話の場の振り返り」の資料

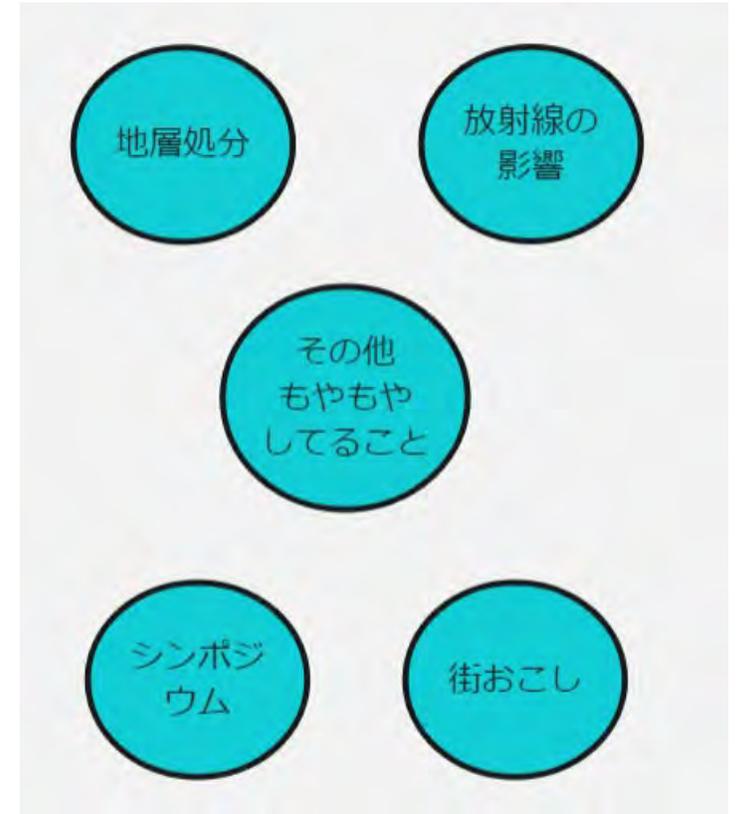
運営委員会でいただいたご意見

十分に議論しないうちに先に進んでいないか？

10回は過去のテーマの振り返りをしてみたいと思います

時間が限られているので、テーブルごとに違うテーマを話し合ってください

事前にアンケートで決めたテーマのテーブルに座っていただいております



途中からテーブル移動を可とした